

2024年度 同志社大学人文科学研究所
第21期部門研究会 合同報告会

日時：2025年2月28日（金） 14:00～16:30

場所：同志社大学今出川校地良心館104教室

※1報告20分（発表15分、質疑5分）

報告順 (予定)	報告者氏名	報告タイトル
1	第3研究・森田喜基（キリスト教文化センター） 会衆派教会とは何か ―その信仰と社会的影響についての総合的研究―	
	森田 喜基	アメリカン・ボードと日本のキリスト教学校
2	第7研究・服部伸（文学部） 戦間期における身体・環境への生政治的介入の国際比較	
	服部 伸	近代ドイツのホメオパシー健康協会における学び
3	第8研究・林田秀樹（人文科学研究所） 東南アジアの小規模生産者に関する部門横断的研究―地域経済・社会の内発的発展への貢献を考える―	
	林田 秀樹	東南アジアの小規模生産者の経済 ―彼らは何にアクセスし何を産み出すか―
4	第10研究・川満直樹（商学部） 特産品に関する総合的研究	
	川満 直樹	沖縄の郷土菓子「ちんすこう」の商標登録問題
5	第11研究・風間規男（政策学部） ソーシャル・イノベーターによる地域実践のための教育プログラム開発の研究 ～ソーシャル・イノベーション学構築に向けた総合的研究の展開に向けて～	
	服部 篤子	グリーン社会とソーシャル・イノベーション
6	第13研究・水谷智（グローバル地域文化学部） 移民・多文化共生・歴史認識の現在―植民地研究との融合に向けて	
	溝口 聡美	旧オランダ領東インドにおける戦争の子どもたち： トランスインペリアルな視点からの歴史と記憶
7	第17研究・王柳蘭（グローバル地域文化学部） コミュニティの維持をめぐるつながりと境界の動態に関する比較研究―人の移動・交渉・葛藤	
	王 柳蘭	「越境者のエネルギー」に耳を傾ける ―ボーダーにおける語りと地域の生成―